



～おたより～

第2回難聴学級担任等学習会の様子

5月18日水曜日、第2回は2校の先生方にご参加いただきました。「発音指導ってどうしたらいいの?」「上手く話せないことを楽しくできる方法は?」等、情報交換をしました。また、浜田ろう学校より、国語教材をもとに表現の読み取りの難しさについて考えたり、「ワンポイント手話（日常でよく使う「動作」の手話）」の紹介等をしたりしました。

学習の中で意味の分かりづらいことばがたくさん出てきます。
どんなふうなことばを
教えていったらいいのかな?



子どもが言いまちがえたとき、
どう伝えたり、指導したりする
といいのかな?

学年のみんなの前で話す機会がありました。恥ずかしがっていましたが、自分の気持ちを伝えることができ、感動しました!!

発音しにくいことばは、文字（黒板に書く、単語カードを提示するなど）・口形を見せています。ことばの意味を教えることもあります。

まずは関係づくりを
しているところです。



今日のポイント 「ことば」をストックしていくために

教員の意識として・・・

授業や学校生活の中で、子どもが分からなかった、知らなかった言葉を記録に残し、繰り返しそのことばにふれる

<記録の残し方> メモ書きでOK!

☆「ことばノート」に記録

☆教科書（もしくはコピーしたもの）に直接○をしておく

*あわせて、事前の教材研究で

「このことばは分からないかも」「この言葉はおさえておきたい」

「ここは理解できるようにしたい」などの視点をもって準備する

*保護者や本人とも共有し、
ことばが増えていくことを
共に実感し、喜びあう



発音指導例（実践から）

- 言いまちがいででは気になったところを少し言うぐらいにしていました。（言い過ぎはよくないです!）記録をとるとパターンが見えてくるかもしれません。
- 母音の取り出しや長音を安定させるなど…発音のサインも有効かも! 口を動かす練習もしていました。
- 話すことを楽しめるよう校内放送をよくしていました。伝わりやすいよう文の横にオリジナルのマーク（区切り、強弱など）を書いて練習しました。みんなから「分かりやすかったよ～」「よく聞こえたよ～」という反応がうれしそうでした♪

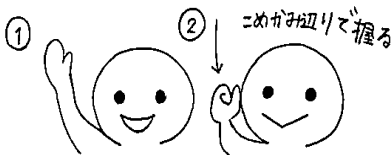
ワンポイント手話

「考える」

「覚える」



人指し指をこめかみにあてて、回す。



覚えることも頭に入れる様子

今後もみなさんにお会いできるのを楽しみにしています。

令和4年6月8日 浜田ろう学校 スタッフ一同